

はじめよう！チャリティーチャレンジ・プログラム

見直しませんか？ 「募金・寄付活動」の教育効果

「社会参画」は、学習指導要領でも重要なテーマのひとつに位置づけられています。子どもたちが地域社会と関わる入口として、「募金・寄付活動」を、よりアクティブで探究的な学習の場に進化させてみませんか？ワークショップや実践事例を通して、「募金・寄付活動」に内在する学びと成長の種を探し、教育効果を最大にする方法や工夫など実践のヒントを持ち帰りましょう。

こんな方へ

- ・現在行っている「募金・寄付活動」に課題を感じている／刷新したい
- ・子ども一人ひとりに役割があり、自己肯定感を持てる活動を探している
- ・子どもたちの協調性と、地域の人たちとの信頼感を醸成したい

日時：2016 年 8 月 27 日（土）13:30～16:30

場所：TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター

（東京都中央区八重洲 1-2-16）

コメンテーター：唐木 清志 氏（筑波大学 人間系准教授）

【定 員】20 名

【対 象】学校教員、教育コーディネーター等

【参加費】2,000 円（資料代）

【内 容】チャリティーチャレンジ・プログラム紹介
ワークショップ、実践事例紹介



…チャリティーチャレンジ・プログラムとは…

募金活動のテーマや寄付先を子どもたち自身が話し合って決める社会貢献学習プログラム。地域課題への関心を高め、募金・寄付活動で地域の大人に働きかけ協力を得ることを通して、自己肯定感と他者への信頼を高めます。教科学習と社会貢献活動の融合を図る学習方法「サービス・ラーニング」を進めています。

【主催】公益社団法人日本フィランソロピー協会 担当：宮本栄、藤川祥子
TEL 03-5205-7580 FAX 03-5205-7585 URL <http://www.philanthropy.or.jp>
〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 244
※本セミナーは競輪（公益財団法人JKA）の補助事業です※



事例発表校の ご紹介

杉並区立杉並和泉学園

2011 年より、総合的な学習の時間の中で、中学部 3 年生が「社会貢献活動」に取り組む。募金のテーマ、寄付先を生徒が決め、商店街や駅頭での募金活動を実施。支援級や教科学習とも連携。

川崎市立大島小学校

2015 年度の総合的な学習の時間の中で、6 年生が「ふかめよう！きずなのあしあと」として、障害者施設とクッキーの共同販売会を行う。児童の探求心に寄り添い、“真に役に立つ”販売会の実現を追求、実践。

公益社団法人日本フィランソロピー協会について

日本フィランソロピー協会（会長：浅野史郎 理事長：高橋陽子）は、『民主主義の健全育成』をミッションに、一人ひとりが力を出し合い主体的に社会参加することを民主主義の原点と考え、個人や企業の社会貢献（フィランソロピー）活動を推進しています。

青少年育成事業としては、社会貢献学習パッケージ「チャリティーチャレンジ・プログラム」の推進、青少年の募金・寄付活動を顕彰する「青少年フィランソロピスト賞」、教員向けシチズンシップ教育ワークショップ「未来をつくる先生プロジェクト」、中学生による震災復興応援「チャリティー・リレーマラソン」（いずれも文部科学省後援）等を行っています。

-----<申込フォーム> FAX 03-5205-7585 -----

お名前	(ふりがな :)		
ご所属			
ご連絡先	TEL		FAX
	E-mail		
	ご住所	〒	
セミナーを知った きっかけ			

ウェブサイトからお申し込みいただけます <http://www.philanthropy.or.jp/>

※個人情報の取扱※

書類に記載された個人名および連絡先などの個人情報は、ご本人の了承なしに公表することはありません

【主催】公益社団法人日本フィランソロピー協会 担当：宮本栄、藤川祥子
TEL 03-5205-7580 FAX 03-5205-7585 URL <http://www.philanthropy.or.jp>
〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 244
※本セミナーは競輪（公益財団法人JKA）の補助事業です※

